

合言葉は

- ①ぼちぼち
- ②そこそこ
- ③できるしこ

第2夜  
9月8日

「ボランティア」で  
NPOに参加する



第2回目は、「ボランティア」という形でNPOに参加している江藤 誠二さん、福島 綾子さんのお二人をお迎えして、NPOの活動に参加したきっかけや参加して楽しかったことなど雪松直子（NPO 法人アカツキ代表）の進行のもとお話をしました。

### 「ボランティア」とは意識していない

大学時代からの友人が忙しそうだったので退職後に事務作業を手伝い始めた江藤さん。勤務の変化で運動量が減りダイエット目的で走ろうとパトランを始めた福島さん。

「自分がやっているボランティアを友人に勧めるとしたらなんて言いますか？」という質問には「ボランティアってなんだろう？ボランティアをやっている意識はない。自分がやりたいことをやって満足しているから、一緒にやらない？っていうかな」（江藤さん）、「楽しく走らない？と誘うかな。ボランティアをしているという意識はあまりなかったかなー」（福島さん）とお二人ともがおっしゃったのは印象的でした。



福島 綾子さん（認定NPO 法人改革プロジェクトパトランナー、日本赤十字九州国際看護大学 助教）

それぞれの関わり方ができることがボランティアに限らず大事だなと思いました。

「ボランティアの自発性＝やりたいことをやる／やりたくないことはやらない／言われなくてもする／言われてもしない」とは参加者からコメント。1回目で「自由」というキーワードができましたが、今回も「自発・自由」がでてきたぞ！と感じました。  
（白神加奈子：アカツキ職員）



江藤 誠二さん（認定NPO 法人フードバンク北九州 ライフアゲイン 事務ボランティア）

### 楽しみ方・関わり方はそれぞれ

参加者から「ボランティアさん向けに、花見や飲み会などのイベント開催を考えています。（自団体が）そのようなイベント開催してくれたら嬉しいですか？」という質問には、「人見知りなので、参加しないかな」（江藤さん）、「私は行きます！」（福島さん）と当然のことですが、みんなでわいわいするのがボランティアの楽しみになる人もいれば、黙々と目標達成するのがやりの人もいます。それぞれの関わり方があるし、

### 参加者の目！

行動はどこからやってくるのか

ボランティアとは何か、とは問わないが、しかし、行動を含むことは間違いのないだろう。印象的だったのは、運動したかったから、といったように、モチベーションが個人的なことだったり、あるいは、ボランティアとは意識していない、と述べられていたことだ。

我が身を振り返ると、何か理念があって行動をしている時間はごく少ない。ところで我が家では、堆積した本が私の行動を待っているのだが、さて。

（なかむー :アカツキサポーター会員）



本事業は、完全に自主財源のみで行なっています。QRコードからご寄付いただけると嬉しいです。

